

経営力向上支援事業の進捗状況について

1 要旨・目的

経営力の高い担い手の成長を促し、力強い生産構造を実現するための支援に取り組んでいる当該事業の進捗状況を報告する。

2 現状・背景

担い手の経営力が着実にステップアップするためには、各発展段階に応じた支援体制を充実させることが重要であり、経営体の成長過程における様々な課題解決を支援している。

3 概要

(1) ひろしま農業経営者学校

担い手の経営発展段階に応じて、経営スキルの習得、経営ビジョンの作成などを目的とした講座を5コース実施している。

対象者、事業内容、スケジュール等

コース	対象者・事業内容	開催場所	定員等	スケジュール
農業経営コース基礎講座 (全般、チンゲンサイ、水稲)	対象：若手経営者及び就農予定者 内容：経営発展の必要性を認識し、経営の基礎的な知識を習得。	オンライン (全般)	20名 (実績21名)	8/6、8/29 (2日間)
		安芸高田市 (チンゲンサイ)	12名 (実績8名)	7/29、8/27 (2日間)
		三次市 (水稲)	20名 (実績16名)	7/24、8/5 (2日間)
農業経営コース発展講座 (全般、チンゲンサイ、水稲)	対象：農表経営コース基礎講座受講者 内容：財務など経営発展に必要なスキルを習得し、経営計画を作成。	オンライン他 (全般)	10名 (実績10名)	9/22～2/27 (8日間)
		安芸高田市 (チンゲンサイ)	12名	9/29～2月 (6日間)
		三次市 (水稲)	10名	11/21～3/6 (6日間)
雇用準備コース	対象：雇用導入を検討している経営者 内容：雇用導入に向け、就業規則などの知識の習得や、求人票、会社案内資料などの作成。	東広島市	15名 (実績8名)	7/29、8/26、 12/2 (3日間)
現場リーダー養成コース	対象：経営体の従業員（農場長クラス） 内容：管理・監督者（農場長）として必要なスキルを習得。	オンライン 広島市	10名 (実績8名)	11/7～3/3 (6日間)
企業経営コース	対象：企業経営体の経営者 内容：経営哲学やマーケティング、人材育成、多角化等に精通し、農業界だけでなくあらゆる分野で活躍するトップ経営者を講師に、農業の枠を超えた経営の本質を習得。	広島市	10名 (実績10名)	8/7～3/10 (8日間)

(2) 経営コンサルタント、専門家派遣による支援

ア 雇用経営発展チーム型支援

雇用就農者の定着を促すため、雇用を導入することにより規模拡大を行う経営体に対して、経営計画の見直しと目標達成に向けた経営コンサルタントの派遣を実施している。

対象者、事業内容

対象者	事業内容
施設野菜 4 経営体 落葉果樹 2 経営体 水 稲 2 経営体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業技術指導所の普及指導員が、コンサルタントのフォローを受けながら、経営体の代表者や役員に対して雇用導入に関するヒアリングを実施。 ・ ヒアリングの結果に基づいて、経営計画を見直し、目標達成に向けた取組を提案。

※雇用経営発展チーム型支援では翌年度の継続支援は実施しない。

イ 企業経営発展チーム型支援

企業経営の実現を目指す経営体に対して、人材育成や予算・実績管理、経営計画の作成・見直しなどの重点課題に対し、その解決に向けた経営コンサルタントの派遣を実施している。

対象者、事業内容等

年度	対象者	事業内容
R 6 継続	露地野菜 1 経営体 施設野菜 2 経営体 常緑果樹 1 経営体 落葉果樹 1 経営体	・ 前年度に引き続き、人材育成等の仕組み導入に取り組み、導入後の運用状況を確認するとともに、導入効果を高めるための助言を実施。
R 7 新規	施設野菜 2 経営体 落葉果樹 4 経営体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各経営体において、コンサルタントが代表者や役員に事業構想に関するヒアリングを実施。 ・ ヒアリング結果に基づいて経営計画の作成や見直し等を支援し、計画実現に向けた取組を提案。

ウ 農業経営・就農サポート推進事業

経営発展意欲のある経営体が抱える法人化や労務管理等の経営課題の解決に向けて、専門家と関係機関が連携して支援している。

対象者、派遣専門家、主な支援内容

対象者	派遣専門家	主な支援内容
目標 50 経営体 （実績 32 経営体） （R 7.11.12 現在）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業診断士 ・ 社会保険労務士 ・ 税理士 ・ 司法書士 ・ 製造業の工程管理実務経験者 など 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経営診断・改善 ・ 雇用・労務 ・ 財務管理 ・ 法人化 ・ 生産工程管理のマニュアル化 など

（３）電子カルテシステムの運用（経営評価システム）

担い手の経営発展を支援するため、令和４年度から経営体のデータを収集し、経営課題の見える化や支援施策の効果検証のためのシステムを構築している。

県職員や経営体などの利用者の要望に応じたシステム改善を行うとともに、データに基づいた課題特定を進め、ひろしま農業経営者学校の講義や専門家派遣の提案などに活用している。

４ 予算額

81,662 千円

【経営力向上支援事業 経営発展段階に合わせた経営力向上の支援体系】

